

北海道美唄尚栄高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスchool宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和4年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	（1）農業技術検定の全員受験を実施し、食と農に関わる知識理解を深めます。 （2）食品衛生責任者の講習を校内実施し、2年間で選択者全員取得を目指します。	A	（1）検定の校内実施を行い、「農業と環境」選択者全員が3級を受験でき、2級も受験できるような整備を行います。 （2）食品衛生責任者の講習に備えた学習を実施する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	（1）授業をととして世界の環境問題への取り組みや食に関する規格について学習し、それを本校の食品製造に生かします。	A	（1）製品生産活動にHACCPの考え方を導入し、理解を深めます。 （2）SDGsを取り入れ、学校でできる目標の設定をし、実践する。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	（1）農業クラブ活動をととして、地域農業の理解者、応援者を育成します。	A	（1）研究活動、販売活動、交流や連携活動で地域の方々と交流する場を多く提供します。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	（1）地域学習をととして、地域産業を理解、応援支援できる生徒の育成を行います。	A	（1）地域学習を深めるために、地域農業の視察研修を行います。 （2）地場産業の収穫体験を行います。 （3）地域の行事に積極的に参加します。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	（1）環境に負荷をかけない、安全・安心な製品を製造します。	A	（1）製造から販売を通して食品ロスなくすよう目標を立てて実施します。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	（1）地域の資源の活用に取り組み、商品化を目指します。	A	（1）地域の特産物や、羊乳などの有効活用に関わる研究に取り組みます。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	本校の知識を生かせるように人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されるように取り組んでいく。	B	（1）プロジェクト学習、農業クラブの取組の中で、市役所、地元農業協同組合との連携を通し、研究を行います。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	（1）実習に関わる安全教育の徹底。 （2）火災と地震に対しての防災知識を深めます。	A	（1）実習服・使用器具の安全的な使用の指導を行います。 （2）火災と地震をそれぞれ想定した避難訓練を実施します。